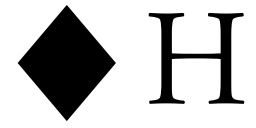


閲覧用



学校関係者評価

設問	自己評価	学校関係者評価
<教育理念・目的・育成人材像> ・理念、目的、育成人材像は定められているか。 ・育成人材は業界等の人材ニーズに適合しているか。 ・理念の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか。	・教育理念、教育方針、育成人材像は定めている。 学生自ら考え動く「自立創造」を目指す。 ・業界ニーズに適合している。 ・当校は、ヘアデザイナーコースとビューティデザイナーコースがあり、両コースとも美容師国家資格が取得できるカリキュラムとなっている。 ・当校はコーセーを母体としているので、教えてくれる先生、使っている教材、自由に使えるコスメコーナーなど他校では真似できない特色がある。 ・新しい時代を切り開く美容価値向上に繋がる取り組みが今後の課題となる。 ・昨年2024年度入学の1年生より(現2年生)、ヘアデザイナーコースとビューティデザイナーコースの混合クラスを実現し、相互間での向学効果が現れつつある。	・適切に行われている。 ・業界の人材ニーズに適合している。 ・美容サロンでは、技術や人間性も含めて総合力が必要。総合力を身に着けた人材を今後も育成して欲しい。 ・どういう人材を求めるか。 ⇒将来自分の店を持ちたいなど目標がある人、キャリアアップを目指す人材。 ・就職後、すぐ辞めることなく継続する力、耐性をつけられるよう、専門学校での2年間育てて欲しい。 ・全コースで全員に美容師国家資格を取らせる上において合格率UPのための指導改善、強化が課題だが、2025年度に関しては、総合合格率も97.1%と十分評価に値する。 ・誰もが授業を受けたいような名物先生、授業内容が退屈させない話術に長けた先生、カリスマ美容師など他の学校に引けを取らない教師がいて欲しい。 ・学内コンクールなどで、学生たちの競う意識を高め、技術面だけでなく、クリエイティブな発想面が強化され、今後、期待している。
<学校運営> ・理念に沿った運営方針を定めているか。 ・理念を達成するための事業計画を定めているか。 ・意思決定システムを整備しているか。 ・情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか。	・教育方針を定めている。 ・毎年の理事会、評議員会にて事業計画を審議している。 ・毎週一回職制会議、月一回教職員会議を実施している。 ・ICTを駆使し、学生との連絡、講師の課題発信など、システム構築が進んできた。	・適切に行われている。 ・適切に行われている。 ・適切に行われている。 ・適切に行われている。

設問	自己評価	学校関係者評価
<教育活動> ・理念に沿った教育課程の編成方法、実施方針を定めているか。 ・学科毎に教育達成レベルを明確にしているか。 ・教育目的、目標に沿った教育課程を編成しているか。 ・教育課程について外部の意見を反映しているか。 ・成績評価、終了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。 ・教員の質的向上への取り組みを行っているか。	・学年別、クラス別に年度目標を掲げ、目標達成に向けて努力している。 ・学科毎に担当講師が指導目標を掲げ、指導している。 ・教務課目標を設定し、その方策に則った教育課程を編成している。 ・「規律ある学校づくりをめざし、マナーやルールを守る」ことを重点課題とし、3ポリシー（・アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー）を共有している。 ・理事や評議員の意見を聴き、教育に参考にしている。 ・コーチングの時間を設け、2年生が1年生を教える授業を行い、1年生は技術の向上、2年生は教えることにより、自らの技術の確認とコーチング力を身につける重要な時間となっている。 ・美容技術取得の魅力を如何に訴求するか課題にする。 ・スチューデントマニュアルに成績評価、単位認定の流れを明確化し運用している。 ・外部研修は技術面の向上と併せて、他校教員との交流を図ることが大きな刺激、モチベーションアップに繋がる。授業との関係もあり、研修参加数が限られているが、少しでも、多くの教職員が参加出来る環境を作りたい。 ・今年2026年3月、当校の教職員、講師を対象とした「メンタルヘルス研修」を実施。 メンタル面が不安な学生への対応に向けて研修を行った。	・適切に行われている。 ・適切に行われている。 ・適切に行われている。 意見は次のとおりです。 ・ワインディング、オールウェーブ、カットなどの技術を好きになることこそ、美容の道への第一歩。 ・技術面習得において、まずは真面目に向き合い継続する力を身につけさせることが学生の成長に繋がる。 ・学生の成長とは、担任の力でどれだけ伸びたかを評価すること。 ・学生のモチベーションをいかに上げていくかも担任の役割、責任である。 ・適切に運用されている。 ・他校と比べても引けを取らない教員の確かな技術力と、指導力強化に向けての研修参加は必要。 ・著名な美容師顧問、特別アドバイザーなど教員育成のための存在感のある人が欲しい。 ・今回実施した「メンタルヘルス研修」後の教員の意識や行動の変化など、今後、検証して欲しい。

設問	自己評価	学校関係者評価
<学修成果> ・就職率の向上が図れているか。	教員もひとりで対応することなく、スクールカウンセラーや、学校医に繋ぐことの大切さを知った。 当校の学生としっかり向き合う為の研修となり、教職員の意識向上に繋がった。 ・外部講師に頼らず、当校教員に資格を取らせる機会を増やし、教員自ら授業を行う体制を強化している。 ・コーセー本社や日本販社との情報共有により、実践的な教育に繋がる要素を強化する。 各事業部：美容開発部、人事部、法務部 などとの共有。 * 研究所、美容開発部ビューティクリエーションユニットは選択授業有 ・就職率は昨年度の100%に続き、本年度も100%を維持。（ヘアデザイナーコース、ビューティデザイナーコース共に就職率100%） ※就職希望者就職率100% ・コーセーグループへ2026年4月入社人数は34名。	・2026年5月に開催された理事会、6月の評議員会では、国家試験対策、退学率軽減に向けて教員の更なる強化を期待しているとの声があがった。 新たな取り組み「ウイネット」への期待も大きい。 ・就活に向けたサポートにより、就職希望者において、毎年就職率100%であることは素晴らしい。
・資格、免許取得率の向上が図られているか。	・2026年春 美容師国家試験合格率97.1%%（全国平均87%）実技100%（不合格者なし） ・学科97.1%（不合格者4名） ・全員美容師資格を取らせる為、教員一丸となって、合格率100%を目指すサポートをし、上記結果に繋がった。 学科外部講師の授業に教員も参加するなど、学生たちの授業サポートをより強化していく。	・就職率とともに国家試験合格率は美容学校の評価にダイレクトに繋がる。学生の意識付けが重要だと思うが、教員の熱意が学生に影響する。 教員は学生に「絶対合格する」というポジティブな意識を植え付けるために熱意を持って対応すること。 ・実技合格率100%だったことは、素晴らしい。 ・学科サポートをより強化して欲しい。
・卒業生の社会的評価を把握しているか。	・都度、サロンや会社に卒業生の評価を訊ねている。 ・卒業生に母校に来てもらい、在校生に向けて、就業体験を話してもらうなど、卒業後の状況を共有する場がある。	・同窓会を利用して、横の繋がりを作り、声を掛け合い情報を収集する。 ・近年入社した卒業生の動向を、もっと積極的に聴いて欲しい。
<教育環境>		

設問	自己評価	学校関係者評価
・教育上の必要性に対応した施設、設備、教育用具を整備しているか。 ・学外研修、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。 ・学校における安全体制を整備し、適切に運用しているか。 <学生の募集と受け入れ> ・学生募集活動を適切、効果的におこなっているか。 ・入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか。 ・入学辞退者に対し授業料等について、適正な取り	・シャンプー室、メイク室、模擬美容室、ウィッグ棚、学生ラウンジなどの整理整頓。 ・学科、実技コンテンツ、教科書、教材等学習ツールのデジタル化の整備を進める。 ・インターンシップは、毎年実施しており、参加学生たちは、現場の状況を知り、就職活動に活かしており、その意味は大きい。 ・昨年2025年8月、韓国にて美容研修を行った。参加者には、終了証が授与され、体験内容も好評だった。 ・毎年春に、消防訓練を消防署立ち合いの下で実施している。 ・非常用キットを人数分用意している。 ・学校のセキュリティ（夜間、休日）はSECOMで行っている。 ・日常の危険個所確認など定期的に校内外の点検を行っている。 ・オープンキャンパス年間42回程度実施。指定校を中心に、進路指導教諭との面談を行っている。 2025年度は37校の高校訪問をすることができた。 また、高校進路ガイダンスも156校に実施した。 ・女子学生の在籍率が高く、男子学生入学を強化することも課題のひとつ。オープンキャンパス等の個人面談でもはたらきかけたい。 ・ヘアデザイナーコースの人数を増やしたい。 ・当校が求める学生像を明確にしている。 ・授業料を支払い、入学前に辞退した者には授業料は	・適切に対応している。 ・インターンシップは重要、実際の職場での体験はサロンにとっても学生にとっても大切である。 引き続き実施して欲しい。 ・海外研修後の報告共有をお願いしたい。 ・適切に対応している。 ・適切に対応出来ている。ここ数年は受験者が年々増加しており、教職員が一丸となって募集活動を効果的に 行っている事が分かる。 ・ビューティデザイナーコースの比率が高いが、美容師希望者は決して減少していないので、ヘアデザイナーコースの入学者強化も大切。 ・適切に運用出来ている。 ・適切な取り扱いを行っている。

設問	自己評価	学校関係者評価
扱いを行っているか。 <財務> ・予算、および計画に基づき適正に執行管理を行っているか。 ・私立学校法及び寄附行為に基づき適正に監査を実施しているか。 <法令等の遵守> ・法令、専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか。 ・自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。 ・学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。 <社会貢献・地域貢献> ・学校の教育資源を利用した社会貢献、地域貢献を行っているか。 ・学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。	返還している。 ・年度予算に則り、厳格に執行管理を行っている。 ・年度終了後、速やかに監事による会計監査、業務監査を行っている。 ・法令、専修学校事務処理手引きなどに則り、適正に行っている。 ・学生に対し、コーセー法務部協力のもと、コンプライアンス研修を行っている。 ・自己評価の実施に関し学則や規程の整備はされているが、見直しや追加項目の整理などは不十分である。 ・自己評価は年2回行っている。 ・体制を整備し、評価を行っている。 ・2025年9月に近隣の「堀船中学校」より校長先生と生徒さんに来校いただいた。 王子の地の活性化を目指し、当校の学生たちと意見交換など、交流ができた。 ・2025年度においては、北区「名主の滝いこいの家」にて高齢者向け、美容講座を前年に続いて実施。	・適切に管理を行っている。 ・適切に実施されている。 ・適切に運営は行われている。 ・コンプライアンス研修は継続して行うことが必要。 退学率を抑える効果もあるのでは。 ・自己評価体制を確立し、問題点を共有化すべき。 ・今後定期的に行う事。 ・社会貢献、地域貢献はどの学校においても、今後積極的に取り組むべき課題である。 継続活動をお願いしたい。 ・適切にボランティア活動は行われているようで、引き続き期待している。